

東北日報

本紙は毎月二十日発行され、毎週日曜日は休刊である。また、臨時増刊号は、必要に応じて発行される。本紙の発行所は、石巻市本町一丁目である。電話は、石巻市本町一丁目、電話二〇〇番である。

町民の念願叶ひ

元平警察署跡は

道路として擴張さる

近く工事にかける筈

平町紺屋町では元警察署跡なるがこれがため隣地山崎敷地を拂下げ交通頻繁を緩三郎氏の所有地一部が潰和し同町の繁榮を計るため地となるので目下同町長有に國道に編入の上道路同所志者数名と土木所長等は山を一つの廣場に擴張するや崎氏に潰地承諾の交渉中であつたが愈々許可となり諾するらしく觀られてゐる平町土木監督所では工事を進め承たくすれば早速工事にめる事となつたが設計に依着手すると所長は語つてゐる。従道より八間廣くなつた。譯で半圓を画くカーブに

本縣下に於ける

買章の人は……

片倉直人氏……?

意外だぞ沖森主事談

（福島電話）本縣下において、某製糸會社重役の買章事件につき沖森縣官房主事は、と全く意外だと言つて語つた。本縣に關する買章事件は、また何も聞いてゐない全く初耳だ製糸會社重役と言へば片倉直人氏を指すものであらうか縣は公平の見地から同氏を製糸功勞者として申請した。石城郡赤井村大字鹽田勝又で何等やましいことは無正治（二〇）（假名）が隣村のい又その他のことに關し娘立花は（一六）（假名）の

被害者の

臨床訊問

昨日三笠檢察一行が石城郡赤井村大字鹽田勝又町二三だん位と云ふのは全不可解であるとして目下

△遠洋漁船の道
石城郡江名町澤原之助氏は、今回西洋型機關附遠洋漁船榮福丸（五十三噸）の新船を建造遠洋漁業に従事する事になつたので三日縣の手を經て農林省に對し獎勵金の交付申請した。

△四銀重役改選

寢室に忍び入り附近の若者四倉銀行では過般臨時株主に毆打され重傷を負はされ總會を開いて重役改選の結果事件は既報の如く目下平果、取締役に同村佐藤順二署で取調中であるが正治平町江口忠一の兩氏が當選はその後經過悪く助かる見就任した

全く不可解な

丹後澤の總面積

當時の書類から見ると

實際に一町歩は不足

平町に過般拂下げられた城關係者に聞喧しく論議され山丹後澤池が明治二十年頃であるが成行きに就ては非に實測された面積と現在の常に注目されてゐる。面積丹後澤附近が一部買章された爲め或は多少の相違はあるとも甚だしい相違ある事が發見されて一寸問題になつた事は既報したが明治二十二年三月三十日當時の本縣知事山田信道氏宛に平町外十九村戸長石川權介氏等が同池を埋立て平高等小學校に（當時の學校名）附屬地とする爲め拂下げに提出した書類の控へを見るに丹後澤は立派に『三四四段二十歩』とあり更に道路として『三段八畝二歩』迄明記してあるこれによると現在の丹後澤は如何に松崎松治氏等に一部を買買するも三町歩からあるべき筈である町に拘らず平町の拂下げが二町二三だん位と云ふのは全不可解であるとして目下

△菊地特高負傷

平町特高係菊地部長は三日正午ころ同署のサイドカーで警備方面の炭礦に轉任で警備の途中サイドカーの車輪にふれ兩足に負傷した

平第二小學校

コン泥に荒さる

巧な犯行に平署悩され
犯人逮捕で躍氣さなる

平町の官私立各學校寄宿舎おいた高等一、二年生徒の或は教室に最近頻々と盗難運動上衣四着サーヂスカト六着其の他見積り三十圓程有聲座の割引券あり
白銀町 丸山雜貨店

中秋に躍如たる

郡下の小スポーツマン

石城のスポーツ界はこゝ數日うちに華々しい戦ひを展開される事になり各チーム各校の小スポーツマンは野球に、庭球に猛練習を開始し當日を期待されてゐるが郡内に於ける催し左の如し
小名濱小學校の秋季大運動會は五日午前八時から同校庭に於て舉行
四倉校外八校合同の秋季聯合運動會は五日午前七時半より草野小學校庭に於て催す

説諭願ひ

眠むれないからと平町堂の前稲葉鐵工所では時間外の深夜まで作業を續けるので再三平署の注意を受けたが此の程附近民より頻々と取締りの投書が舞ひ込むので同所は四日所主を呼出し嚴重説諭を加へたが一般鐵工場にも近く之れが取締りの注意を促す筈で若し違反行為のあつた場合は容赦なく嚴罰に處する方針で最近殊に自動車修繕工場が増加し深夜までガン／＼とエンジンの響きや鐵板の音が聞えるので安眠妨害の上もなき事となし當局ではさきに行つた道路取締りと共に工場方面にまで手をのばし平町の安寧に就て廓清を計る事となつた

△ツエ伯号寫眞

平第一小學校主催のツエ伯号の寫眞展覽會は五日の兩日午前九時より午後四時まで同校講堂に開催する一般の觀覽を希望すると野菜を背負つた男、一日午後八時頃石城郡勿來町大字酒井原に於て大風呂敷を背負つて行く男を植田署員が發見取調へた處右は宮城縣生れ笠原秀吉（五三）と云ひ甘藷五貫及其他の盗品を持參してゐるので直ちに引致したが甘し泥棒の外七件の窃盜を自白した

小杉氏來平

六日聚樂館に來演
平町白銀青年團後援小松教祐氏の單獨オーケストラ講演會は来る六日午後五時から聚樂館に開催する同氏は十八種の樂器を一人にて演奏する驚異的音樂家で人氣高値
安値 七五、二〇
五八、六〇
買馴 六六、九〇

蘭市況

四倉蘭市場に於ける三日の取引状況及び取引貫数は九百六十七貫百四十匁で取引高は左の如し
高値 七五、二〇
安値 五八、六〇
買馴 六六、九〇

磐城銀行を主体として 地方銀行を合併させ 合同の上進出させる事は

石城経済界のこころ手段である

休業中の平町磐城銀行が、単獨開業をなすので、開業後は武藤豊氏が就任する事に、各單獨開業する事が確定的増資して基礎の強固を圖るなつた、なほ副會長其他常のものと、なつて来た結果、石事は之亦決定的の事實とみ、任幹事は再選重任と決定し、城郡地方に於ては行きなやられ此の増資を機として各、たが總會終了後、白岩山に於て總會をかかねて、松茸狩を、みとなり其實現は至難とさ、銀行の資本を合同すれば、莫て懇親會をかかねて、松茸狩を、催したが、來會總數三百餘名に達し頗る盛會であつた

近台頭し石城地方財界に於て立銀行が生れる事になる、て種々論議されつゝある石常磐、七十七兩銀行支店に、完全な經濟界を支配されて、半銀行系と磐城銀行系とが、る現在地方の獨立銀行必あり従來は二者の間に裏面要論は可成論議のあるものと注目されてゐる際でも、其爲めに銀行の合同は實現り、磐銀の蘇生は銀行合同の困難とみられてゐたので、促進と重大な關係を持つつたし、かゝる親銀行ともみ、のせられ同時に、行きつまたれる磐城銀行は財界の恐つてゐる石城地方經濟界を、慌に休業する事となり、平銀行は常磐銀行と合併して、まつたので合併を希望して、ゐても主体となる銀行がな、い爲めに話を進める事が出、來ず一時話題に上り、而も具、案案まで出来た平銀と四倉、銀行の合併説も立消えとなつてしまつたのである、

平町の磐越、磐城實業、植田町の磐東、四倉町の四倉各本店銀行は何れも經濟的打撃を受けてゐる事は事實であり、此の苦境を脱出して健全なものにするには、何うしても合同の一途があるのみなので、誕生する磐城銀行を主体として各銀行の合併が實現する事は、左程至難事ともみられない、磐銀は減資重役の私財提供によつて

會長木村氏

磐城青年同盟
幹事は武藤氏
昨日の總會で決定、磐城青年同盟總會は三日午前十時、から石城郡大野町玉山温泉に於て開催役員の改選を行つた結果、欠員中の會長には、木村守江氏を推し、幹事に

玉屋洋品店

秋帽子... ワイシャツ
平町田町通り
電話六五五六番

十月四日ヨリ特別大興行 秋の映画戦線に堂々弾を連ね、角頭を抜く大陣容

本邦最初の『蜂須賀水六』

日本生活社會の大部分の費用と日時とを犠牲に製作せし本邦最初の二百トシ級

發聲映畫—正—に完成

主演... 柳井京子 楠英二 新妻四郎 回載連グンキ回

勢伊崎 八王子 足利 優秀新柄銘仙陳列

秋冬物新柄特選
陳列と實用品特賣

★十月三日ヨリ七日間

仙友ンリスモ尺着ンリスモ
館新於 列陳柄新選入

三井吳服店

松竹提供 意氣昂る常勝將軍
阪東妻三郎 捲土重來の大活躍

銀蛇

宿命劍史 全

生必しも生ならず死必ずしも死ならず冷れば氷山の如く熱すれば噴火の如く死の彼方に人生の意義と更生を求めて華と散る情熱兒の血涙記ではある

純真な濱の乙女の心情を描く笑と涙の殉情詩
栗島すみ子が得意の情趣篇「青春の小狐姉妹」
海濱情詩 愛のゆく未 全

濱に育つた娘とし、栗島すみ子獨特の境地を示す笑と涙に満ちた詩情豊かな一篇の海濱哀話ではある 劇中安來節を取り入れ其の効果を一段と見せる近來の傑作

東北地方公開権は當館唯一
連續時代映画『長江半之丞の巻』

料金—特等大人六〇〇 小入三〇〇
普通大人四〇〇 小入一〇〇

松日竹活平館
六四四電

西洋料理 丸昇軒
電話四三九番

2×9—3×2×3
タ マ チ
フ

貴金屬 眼鏡
五〇八呼電 (b 通道新) 前驛平
店計時木鈴堂ヤイダ

...的術藝し用應を光探の新最は影撮すまし致製調を真寫...
...てに法光探の特獨餘弊は影撮間夜んせまりあり變と影撮間畫...
館真寫島中